

ブック版

エッセンシャルガイド「グラフィックユーザーのための機能ハイライト」

Essential Guide for Graphic Users



Adobe® Illustrator® CS2 日本語版



Adobe Illustrator CS2は
イラストレーション作成ツールという
原点に立ち戻るべく
ドローツールの強化を主眼とする
バージョンアップを果たしました。

Adobe® Illustrator® cs2 日本語版

Illustrator CS2は、非常にパワフルで直感的な操作が可能なベクトル画像のドローイングアプリケーションです。ロゴやイラスト、パッケージデザイン、地図やポスター、そしてWebやモバイル機器向けのグラフィック作成において、プロフェッショナルが求める多彩な機能を提供します。新搭載の「ライブトレース」機能でスキャンした線画や写真などのビットマップ画像を精密なベクトル画

像に変換し、同じく新搭載の「ライブペイント」機能で着色すれば、これまでになかった作品を作ることも容易です。ベジェツールによる精密なドローイング、鉛筆ツールによる手早いスケッチなど、目的に合わせた使い分けも自在です。画像を大胆に変形させたり、オリジナルの3Dオブジェクトの作成もとても簡単です。それらにはすべて透明効果を適用できます。テキストのコントロールも改

良され、OpenTypeフォントのフルサポートをはじめとするタイポグラフィ機能の強化により、美しく洗練された日本語組版が可能です。最終のアウトプットについてもPDF/X-1に代表される、用途に適したPDFの作成環境をサポートすることで、先進のクリエイティブワークフローを提供します。本ガイドを通して、グラフィックユーザーのための機能ハイライトを是非ともご覧ください。

9 Photoshop 感覚

アプリケーションの垣根を越えた表現

データ入稿スタイル やいまいまな

18

8 透明効果

ベクトルとラスターの華麗なる融合

より柔軟で優れた出力環境

16

6 「ライブ」効果

「やり直し」が可能なツール

PDFワークフローが
もたらすメリット

14

洗練されたインターフェイス
作業効率を高める

12

4 革新の新機能

ライブトレースと
ライブペイント

タイポグラフィにこだわる

10



ライブペイント と ライブトレース

革新の新機能

ライブトレース CS2 NEW

手書きのスケッチを、そのままIllustrator上で編集したい。そんなデザイナーやイラストレータの方のかねてからのニーズにお応えします。ライブトレース機能を使用すれば、スキャンした線画や写真などのビットマップ画像をすばやく正確に、編集可能なベクトルグラフィックに変換できます。

ライブトレースが「ライブ」といえるのは、プレビュー機能によって、元のビットマップ画像を保持したまま、カラースウォッチやピクセルのしきい値といったトレースオプションの調整結果をその場で確認できるためです。設定が気に入らなかった場合は、「解除」を選択すれば、まったく変更されていない元のビットマップ画像に戻せます。



ライブペイント CS2 NEW

ライブペイントを使用すれば、構造やレイヤーがどうなっているかを考えずに、画面上の表示を見ながら、アートワークをすばやく直観的に塗ることができます。アートワークを開き、クリックしてライブペイントオブジェクトに変換し、ライブペイントパレットを使ってどこでも目的の場所にカラーを適用するだけです。

ライブペイントは、ライブトレースを使ってトレースしたアートワークをさらに加工するためにも、既存のIllustratorアートワークにカラーを適用するためにも使用できます。ライブペイントオブジェクトは、ライブトレース同様、「ライブ」のまま好きなだけ作業することができます。



手書きのスケッチを
瞬時にベクトル
グラフィックへ



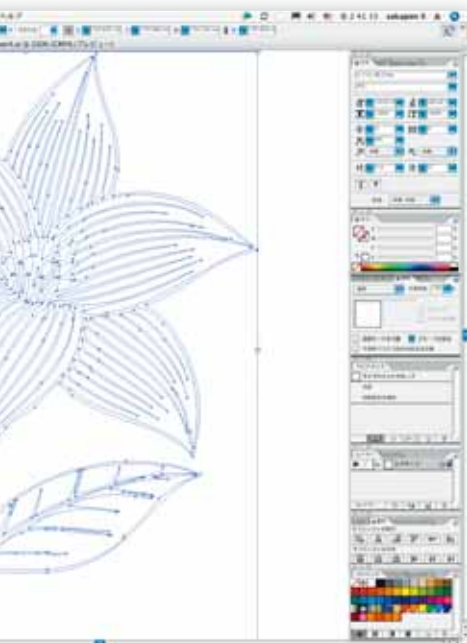
Illustrator CS2最大の新機能、ライブトレースとライブペイントを紹介します。

ここではイラストレータの方が手書きのスケッチを取りこみ

自動トレースして着色するという状況を想定しその手順を説明します。

従来のアプリケーションでは不可能であった非常に高いトレースの精度と

柔軟なペイントツールが作品づくりに大きく貢献することでしょう。



オリジナルを編集

ライブトレース

カスタム

[初期設定]

カラー変換 (6色)

カラー変換 (16色)

写真 (低精度)

写真 (高精度)

グレースケール

手書きスケッチ

詳細なイラストレーション

コミックアート

図面

白黒のロゴ

ペン画

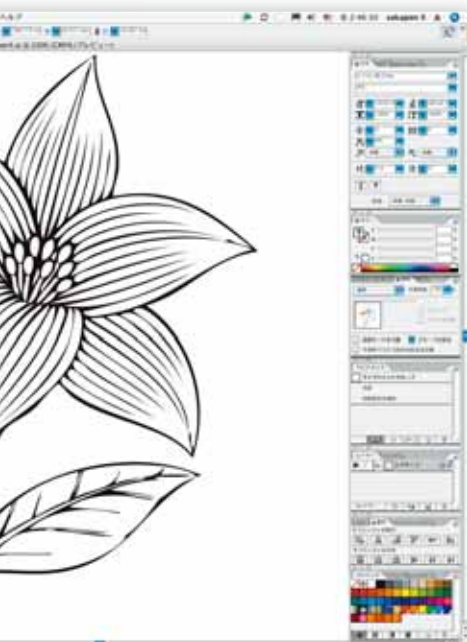
文字

トレースオプション...

ライブトレース

1 スキャニングした画像を選択した状態で、[ライブトレース] ボタンを押します（ここではトレースオプションの「手書きスケッチ」を選択）。トレースの仕上がりに納得がいかない場合は、[トレースオプション]（オブジェクト/ライブトレース/トレースオプション）で設定を調整します。調整は即座に反映されます。ライブトレースを拡張していない段階では、トレースの方針を何度でも変更することができます。

▶トレースオプションのプリセットが13種類用意されているので、クリックするだけで高品質の結果を得ることができます。

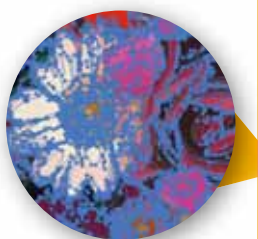


ライブペイントに変換

2 ライブトレースをライブペイントに変換します（オブジェクト/ライブトレース/ライブペイントに変換）。ライブトレースで作成したパス以外でも、ライブペイントに変換することができます。ただし効果（ぼかしなど）を適用したパスなどは、ライブペイントに変換できない場合があります。その場合は効果を破棄するか拡張した後でライブペイントに変換してください。

ライブペイント活用のポイント

ライブトレースで作成したパス以外でも、ライブペイントに変換することができます。トレースで再現できなかった線を画面上でダイレクトに補正したいときや、自作キャラクターの着色時にライブペイントオブジェクトに変換して作業をするなどの用途が考えられます。



完成

3 ライブペイント選択ツールで塗りたい領域を選択し、ライブペイントツールでカラーを適用していきます。グラデーション、パターンなど通常のペイントツールが使用可能です。

パスの「隙間」を埋める

パスの隙間が大きく、うまく塗りつぶすことができない場合は、[隙間オプション]（オブジェクト/ライブペイント/隙間オプション）で隙間を埋めます。

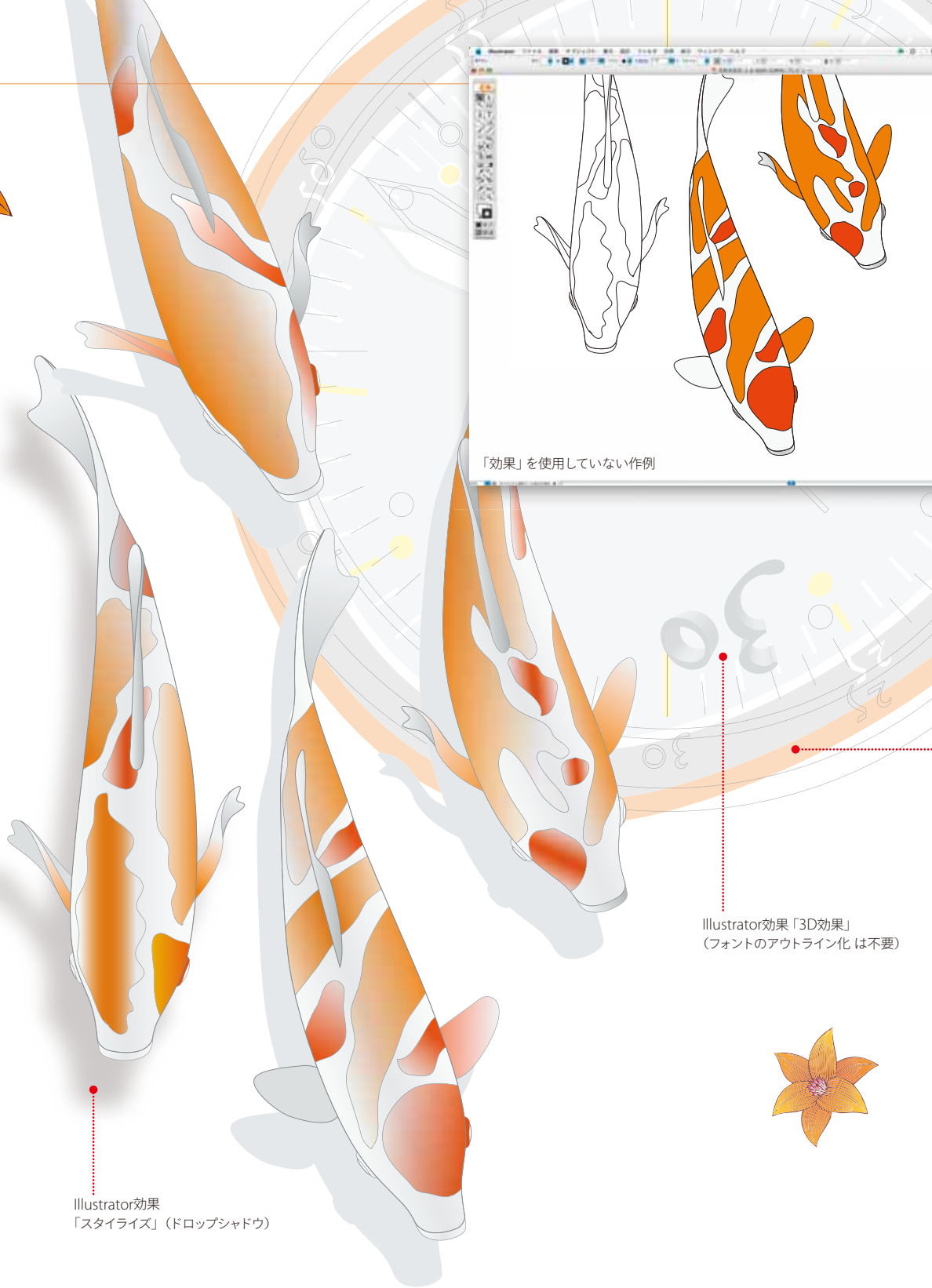
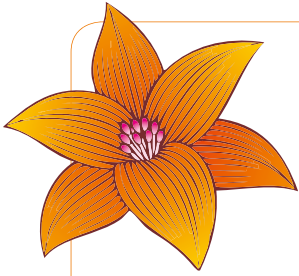


写真原稿のトレース

写真原稿も極めて高精度でトレースすることができます。

- ① オリジナル (72dpi JPEG)
- ② 写真 (高精細)
- ③ グレースケール
- ④ 文字





Illustrator効果
「スタイライズ」(ドロップシャドウ)

Illustrator効果「3D効果」
(フォントのアウトライン化は不要)

「やり直し」が可能なツール 「ライブ」効果

徹底したシミュレーションを繰り返し行える気軽さが
イラストやデザインのクオリティを高めます。

Illustrator CS2では、ベクトルグラフィックの柔軟性を高める
さまざまな「ライブ」効果 (Illustrator効果) により
緻密なアプローチも大胆でダイナミックなオペレーションも
簡単に実現できます。

効果 (Illustrator効果) CS2 UPDATE

オブジェクトに影響を与えないで効果を適用できます。適用した効果はオブジェクトのアピアランス属性として適用され、最初から作業をやり直すことなく、いつでも適用した効果の設定を編集できます。



効果の再編集
削除が自由自在
いつでも元のデータに
立ち戻ることができる

アピアランス

アピアランスパレットを使用して、オブジェクト、グループまたはレイヤーのアピアランス属性を表示し調整します。アピアランス属性には、塗り、線、透明度および効果があります。オブジェクトにアピアランス属性を適用した後、その属性を編集または削除した場合でも、基本となるオブジェクトや、そのオブジェクトに適用されている他の属性は変更されません。

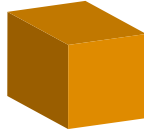


▶オブジェクトに効果を適用すると、アピアランスパレットに効果名が表示されます。効果を再編集する場合は、効果名をダブルクリックします。

Illustrator効果の例



元のバスターデータ
(正方形)



3D効果



スタイライズ
(角を丸くする+ドロップシャドウ)



スタイライズ
(落書き効果)



パス
(自由変形)



パスファインダ (中窓)



ワープ (旋回)

3D効果

ペンツールなどで作成した2Dのシェイプにパスの押し出しと回転を行えば、完全に編集可能な3Dオブジェクトを作成できます。テキストデータへもアウトライン化せずに3D効果を適用できます。



スタイライズ

矢印やドロップシャドウを追加したり、角を丸くしたりできます。また、境界線をぼかしたり、光沢や落書き効果のアピアランスをオブジェクトに追加することもできます。

パスの変形

ベクトルオブジェクトを変形します。または、アピアランスパレットで塗りまた線が追加されたビットマップオブジェクトに適用することもできます。

パスファインダ

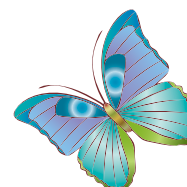
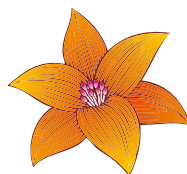
単純なシェイプを組み合わせて複雑なエレメントを容易に作成できます。グループ、レイヤー、サブレイヤーを結合して、1つの編集可能なオブジェクトにします。

ワープ (円弧・旋回・魚眼レンズなど)

パス、テキスト、メッシュ、ブレンド、ラスターライズ画像などのオブジェクトを歪ませたり変形します。これらの変形効果は形状に確定的な変更を加えることなくライブで実行されるので、効果はいつでも変更または削除できます。

シンボル CS2 UPDATE

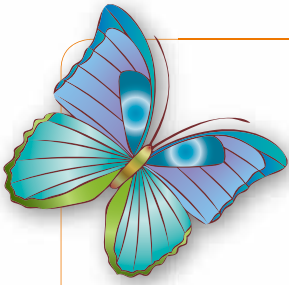
シンボルは、ドキュメントの中で何度でも使用できるアートオブジェクトです。シンボルを使用すると時間の節約になるだけでなく、ファイルサイズを大幅に削減できます。



▶ドラッグしてシンボルオブジェクトに登録します。シンボルは、ドキュメントの中で何度でも使用できます。

ワープ効果を適用

さらに効果を強調 (編集)



シンボルの置き換えにより、レイアウトされた状態でオブジェクト（インスタンス）の置換が可能。

透明効果
「不透明度」

不透明度・描画モードのコントロール

使い慣れたAdobe Photoshopと同等の操作性でAdobe Illustrator CS2の表現力を飛躍的に高めることができます。図形やパスを選択して、透明パレットで不透明度のスライダをスライドします。描画モードを利用すると、重なり合うオブジェクトのカラーをブレンドする方法を選択できます。背景の色が透けて混ざり合った微妙な色合いの表現が可能です。

3D効果
(効果を維持したまま
テキストの編集が可能)

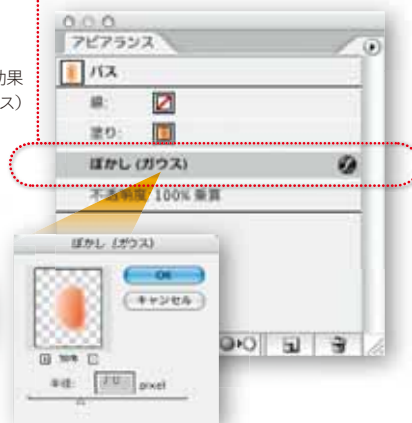
ベクトルとラスター の華麗なる融合 透明効果

透明効果は、Illustrator CS2を使用する上で欠くことのできない機能です。「乗算」や「スクリーン」などの描画モード、オブジェクトの不透明度など、Photoshopと同様の透明効果を使用できるため、作業効率をアップできるだけでなく、デザインの幅を広げることができます。

Photoshop効果
「ぼかし」(ガウス)



効果を適用する前の
パスの状態



▶ 鯉の模様、影、背景の時計のぼかしは、Photoshop効果の「ぼかし(ガウス)」で表現しています。効果を破棄する場合は、パレット下段のゴミ箱アイコンに効果をドラッグします。

Photoshop 感覚

アプリケーションの垣根を越えた表現



▶パレットには不透明マスクのサムネイルが表示されます。左のサムネイルはマスクされたオブジェクト、右のサムネイルはマスクオブジェクトを示す。

不透明マスク

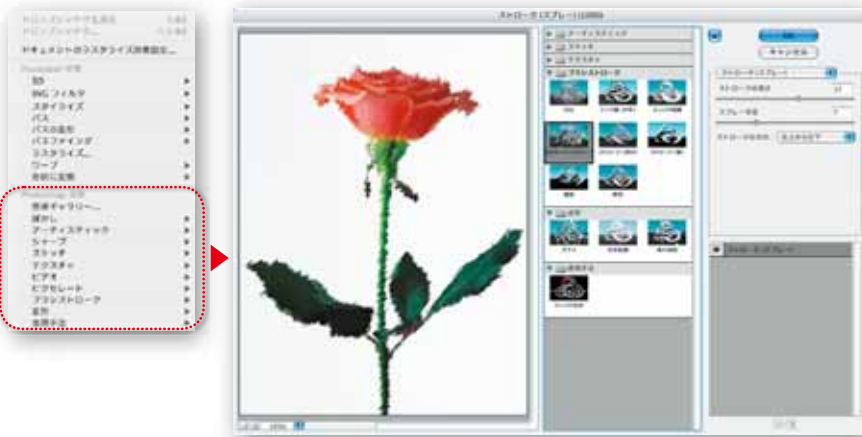
不透明マスクでは、マスクオブジェクトを使用して背面のアートワークの透明度を変化させます。マスクがホワイトの部分は、アートワークは完全に表示されます。マスクがブラックの部分は、アートワークは非表示になります。マスクにグレーの階調があると、アートワークの透明度が変化します。

透明効果など より見栄えのする効果を実現するにはAdobe Photoshopが必要だった



グレースケール彩色 CS2 NEW

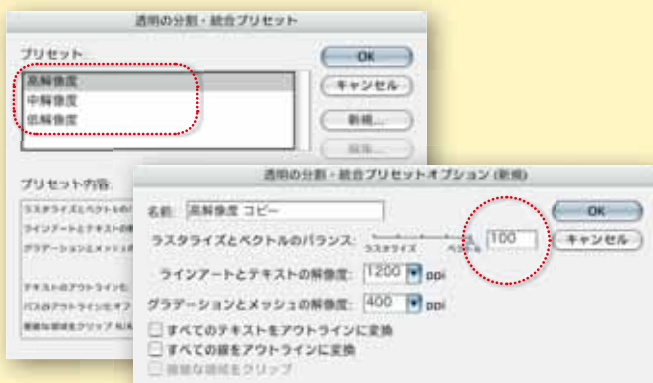
アートワークにリンクや埋め込みで配置されたグレースケールの画像は、カラー設定をするだけでプロセスカラーやスポットカラーを適用できます。



▶Photoshop CS2のフィルタギャラリーに直接アクセスして、結果をプレビューしながら多彩なPhotoshopフィルタを試すことができます。

フィルタ ギャラリー CS2 UPDATE

フィルタギャラリーを使うと、ダイアログボックス上で結果を確認しながらAdobe Photoshopのフィルタ持つ多彩な効果を適用できます。また、新しく追加された効果ギャラリーを使ってライブ効果として適用すれば、元のアートワークに影響しないでPhotoshopフィルタの効果を適用することもできます。



出力時の対応も万全です

透明の分割・統合プリセットにより一貫性を向上

透明の分割・統合プリセットにより、透明オブジェクトを含むアートワークの印刷およびAdobe PDFへの書き出しで、一貫した最適な結果を得られます。透明の分割・統合プリセットをコントロールすることで、出力トラブルを心配する必要はありません。また、通常の設定では期待通りに出力が行われない時のために、オリジナルのカスタム設定を登録して利用することもできます。

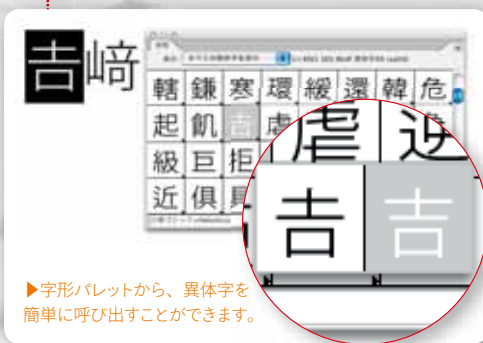
▶詳細については弊社発行の「透明の手引き」を参照ください。

OpenTypeフォント

Adobe Illustrator CS2には、OpenTypeフォントの高度なサポートが追加されています。異なるプラットフォームが混在するワークフローにおいても、OpenTypeフォントを使うことでテキストのリフローなどを心配することなく、クロスプラットフォームを実現することができます。

異体字切り換え機能

OpenTypeフォントに搭載されている豊富な字形への容易なアクセスにより、これまで処理が難しかった外字扱いの異体字をタイポグラフィに素早く活用することができます。



豊富なバンドルフォント

和文・欧文を含めて100種類以上のOpenTypeフォントが無料でバンドルされています。インストール時に自動的にインストールされます。

バンドルフォントサンプル

和文書体

- 小塚明朝Pro EL
- 小塚明朝Pro L
- 小塚明朝Pro R
- 小塚明朝Pro M
- 小塚明朝Pro B
- 小塚明朝Pro H
- 小塚ゴシックPro EL
- 小塚ゴシックPro L
- 小塚ゴシックPro R
- 小塚ゴシックPro M
- 小塚ゴシックPro B
- 小塚ゴシックPro H

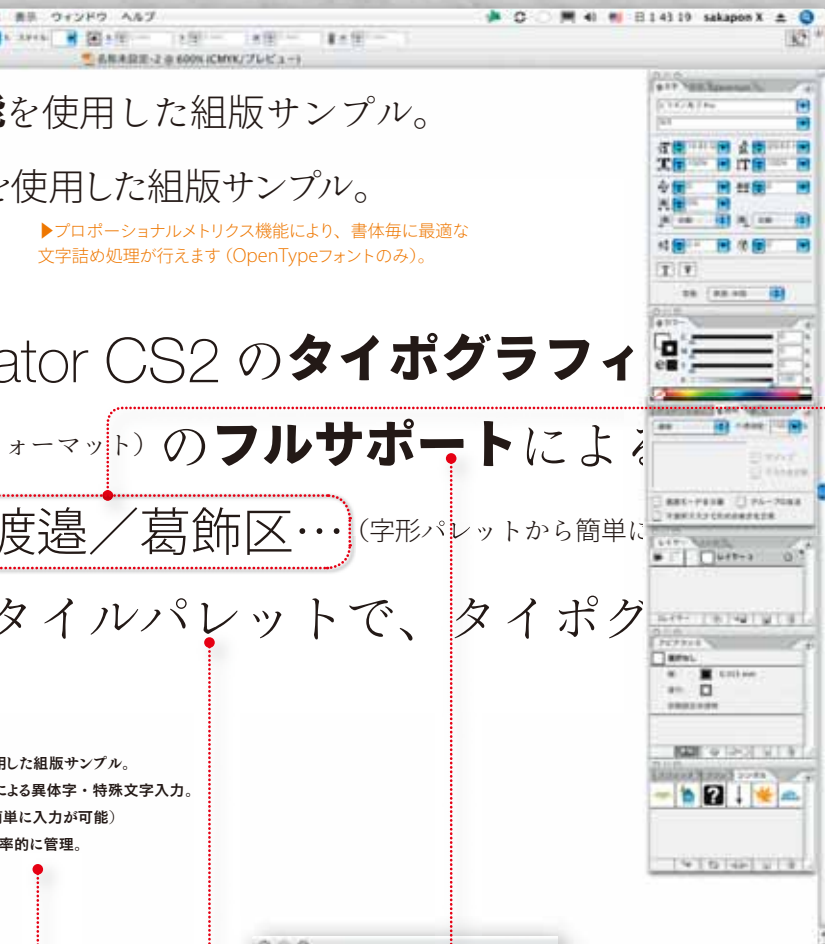
あいうえお漢字日本語123ABC
 あいうえお漢字日本語123ABC
 あいうえお漢字日本語123ABC
 あいうえお漢字日本語123ABC
 あいうえお漢字日本語123ABC
 あいうえお漢字日本語123ABC
 あいうえお漢字日本語123ABC
 あいうえお漢字日本語123ABC
 あいうえお漢字日本語123ABC
 あいうえお漢字日本語123ABC
 あいうえお漢字日本語123ABC
 あいうえお漢字日本語123ABC
 あいうえお漢字日本語123ABC
 あいうえお漢字日本語123ABC
 あいうえお漢字日本語123ABC

かな専用書体 (上記書体などと組み合わせてご使用下さい)

- りょう Display Std M
- りょう Display Std SB
- りょう Display Std B
- りょう Display Std EB
- りょう Display Std H
- りょう Text Std EL
- りょう Text Std L
- りょう Text Std R
- りょう Text Std M

あいうえおかきアイウエオカキ
 あいうえおかきアイウエオカキ
 あいうえおかきアイウエオカキ
 あいうえおかきアイウエオカキ
 あいうえおかきアイウエオカキ
 あいうえおかきアイウエオカキ
 あいうえおかきアイウエオカキ
 あいうえおかきアイウエオカキ
 あいうえおかきアイウエオカキ
 あいうえおかきアイウエオカキ
 あいうえおかきアイウエオカキ

▶バンドル書体の詳細については「Illustrator お読み下さい.pdf」をご覧ください。



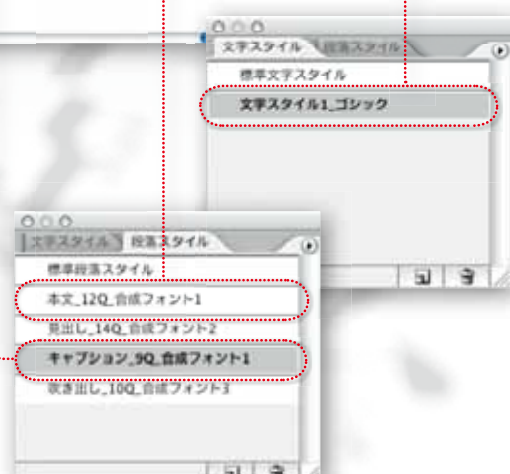
ator CS2 のタイポグラフィ

フォーマット) のフルサポートによる

度邊/葛飾区... (字形パレットから簡単に

スタイルパレットで、タイポク

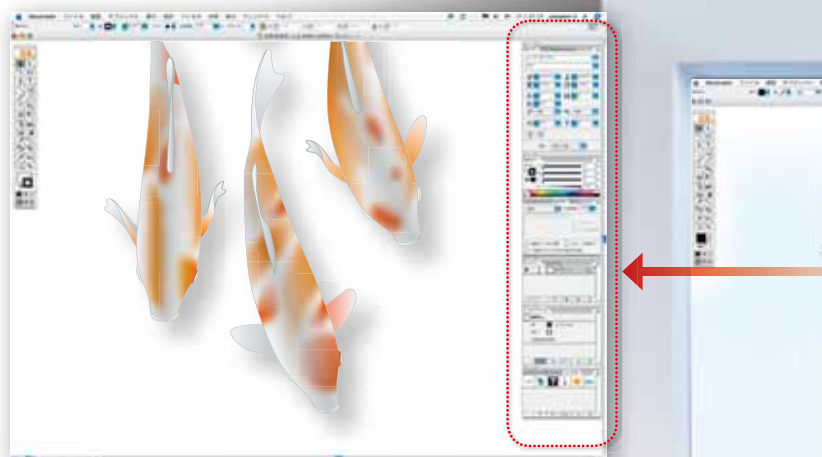
用した組版サンプル。
による異体字・特殊文字入力。
簡単に入力が可能
率的に管理。



スタイルパレット CS2 UPDATE

文字と段落スタイル

文字スタイルや段落スタイルを使用すれば、特定の文字または段落全体にワンクリックで書体や文字サイズ、カラーなどの書式を適用できます。テキストのデザインを統一することで高い品質を維持できます。また複数の書式設定を1つのグループとして定義することができるため、作業時間を大幅に短縮できます。



▶あるときはパレットを整然と配置しておきたい…。

状況に応じて
パレットの位置を
保存できれば…

ワークスペースの保存、 切り替え CS2 NEW

特定の作業に必要なパレットだけを表示し、その状態をカスタムワークスペースとして保存すれば、作業内容に合わせてワークスペースを切り換えるだけでスクリーン上を瞬時に最適化できます。ワークスペースはいつでも共有や再使用が可能なので、ワークスペースのテンプレートを使うこともできます。

洗練された
作業効率を高める
インターフェイス



コントロールパレット CS2 NEW

使用するツールに応じてそのオプション表示が変化するコントロールパレットを採用。パレットをいくつも開いておく必要がなく、下線の付いたパレット名かメニュー名をクリックするだけでアクセスできます。

使いやすい
インターフェイスは
それだけで
一つの機能といえる

Illustrator CS2では、
スムーズな操作性を提供するために
数々の機能が追加または強化されています。
高機能でありながら使いやすいインターフェイスは
作業を邪魔するどころか、作業にいっそうの弾みをつけてくれます。

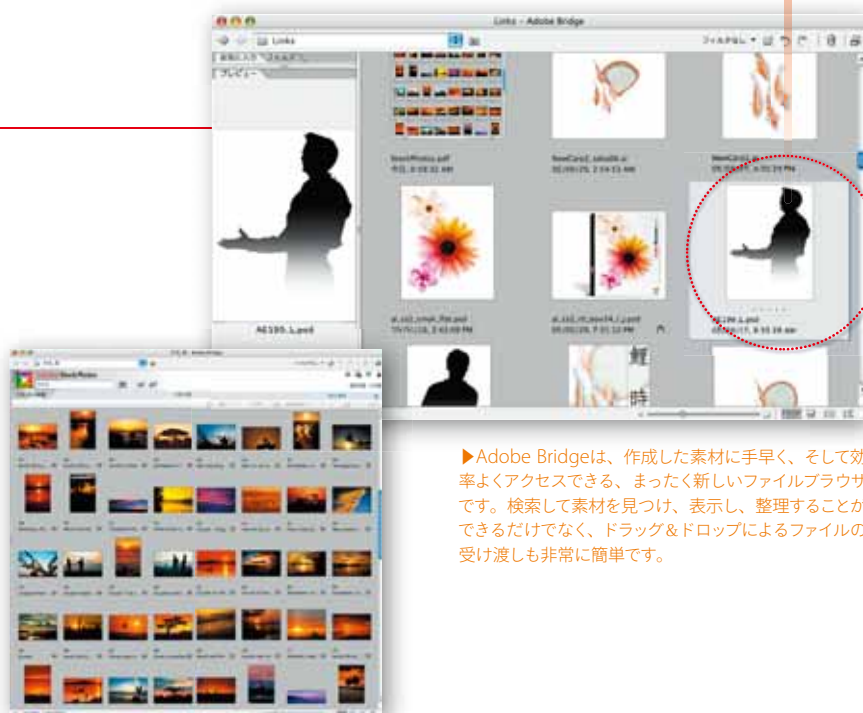


Adobe Bridge CS2

Adobe Bridgeを使用すれば、Illustratorの画面から離れることなく、制作に必要な素材の検索やブラウズ、ファイルの整理が行えます。目的のファイルをIllustratorのアートワークに直接ドラッグ&ドロップで配置することも可能です。

Adobe Stock Photos

Adobe Stock Photosは、Adobe Bridgeを介して利用できるロイヤリティフリーのストックフォトサービスです。画像のブラウズ、検索、試用、購入を一括して行うことが可能です。必要な写真データは、Illustratorのドキュメントに直接利用できるようになっていきます。カンプ用のデータを使って作業を進め、最終的にその写真を使うと決まったら購入します。それだけで、高解像度のデータをダウンロードできるようになります。

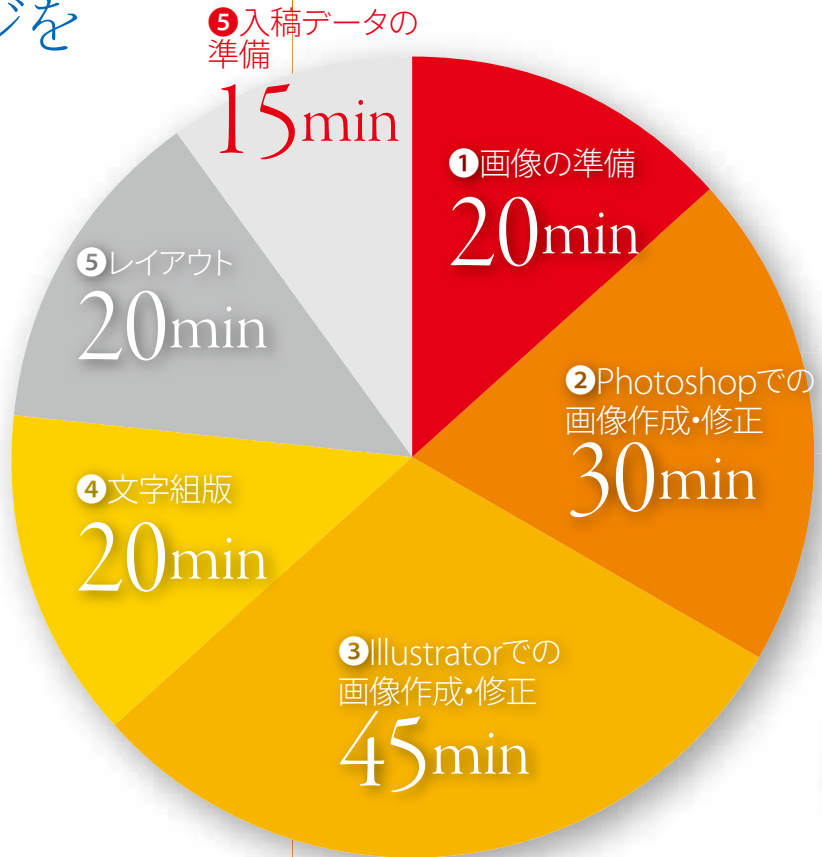


高い表現力と効率性 Illustrator CS2の アドバンテージを 検証する

PDFワークフローが
もたらすメリット

Illustratorを使用した、フライヤーなどのドキュメント作成は少なくありません。クライアントの要望も高くなり、短時間で多彩な表現が求められています。ここではそうしたデータを作成する際に必要な所要時間や管理するデータ量などの違いを、Illustrator 8とIllustrator CS2で比較しました。Illustrator CS2が提供する新たなワークフローが表現力の向上だけでなく作業効率の向上にも大きく役立つことが確認いただけるでしょう。

Illustrator 8.0Jで 作成した場合 [EPSファイルで入稿する]



入稿までの
およその所用時間 **150min**

データ編集時

AI	作業用AIファイル
JPG TIFF PSD PSD	作業用画像ファイル (PSD形式など)
EPS EPS EPS EPS	配置用画像ファイル (EPS形式など)

必要ファイル点数 **9** ファイル

データ入稿時 (出力)

EPS	印刷用入稿ファイル一式 (テキストをアウトラン化した完成データ (EPS形式)、 ドキュメントにリンクした配置画像ファイル一式)
EPS EPS EPS EPS	

必要ファイル点数 **5** ファイル

Illustrator CS2で 作成した場合 [PDFファイルで入稿する]



入稿までの
およその所用時間

76 min

Illustrator CS2のアドバンテージ

① 画像の準備

Photoshopを使用している配置画像の準備。ここでは角版や切抜きの花の写真。データ形式はEPSに限定されず、後の画像加工を視野に入れるとPhotoshopネイティブのPSD形式が推奨。カラーモードはPDF作成時に自動的にCMYK変換される。

② Photoshopでの画像作成・修正

ネイティブ形式のファイルを配置できるため、クリッピングパスの作成や配置画像用にEPS形式のデータを用意する必要がない。切抜きの花はレイヤーマスクで背景を透明に。

③ Illustratorでの画像作成・修正

鯉や時計の画像に透明度を持たせる、ドロップシャドウをつけるといった各種エフェクトは、Illustrator CS2だけで処理することが可能。➡P6~8「効果、透明効果」

④ 文字組版

和欧文仮名の混植は、合成フォントや段落スタイルパレットなどを使用して効率的に処理できる。データ修正も容易。➡P10、11「合成フォント、スタイルパレット」

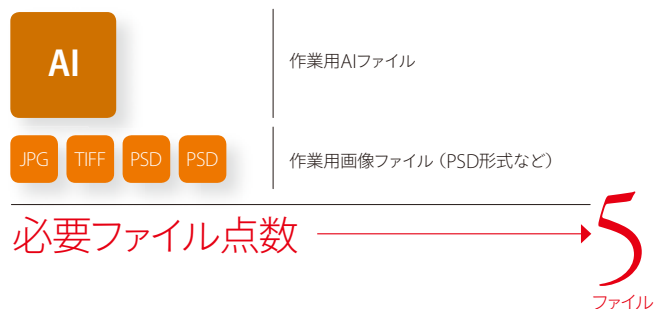
⑤ レイアウト

ネイティブデータを高画質でプレビュー出来るためレイアウトしやすい。またレイアウトをしながらリアルタイムでドロップシャドウや透明度などの効果を調整できるため、作業効率が非常に高い。コントロールパレットなどのインターフェイスも操作性に貢献。➡P12、13「ワークスペースの保存、コントロールパレット」

⑥ 入稿データの準備

印刷に最適なPDF/X-1aを、Illustratorから直接かつ短時間で作成できる。データは1ファイルにまとめられ、リンクファイルの収集作業からも解放される。フォントはPDFファイルに埋め込まれる*ため選択の幅が広がる。RGBデータ（リンク画像、パステータ共に）が含まれていても、自動的にCMYKへ変換されるため、出力事故のダメージが少ない。➡P16~19「出力環境、入稿スタイル」

データ編集時



データ入稿時 (出力)



*埋め込みが可能な形式のフォントに限りです。

直観的なプリントインターフェイス CS2 UPDATE



さらなるパフォーマンスの向上と より安定した出力を実現

統合された プリントダイアログ

出力をより確実にするため統合された新しいプリントインターフェイスにより、あらゆる印刷設定がひとつのダイアログで行えるようになりました。

便利な 拡大縮小オプション

大型のアートワークでも簡単に標準サイズの用紙に印刷できます。新しい「用紙サイズに合わせる」オプションは、アートワークを縦横比を保持したままページサイズに合わせて自動的にスケールリングします。拡大縮小オプションを使えば、アートワークをスケールする比率や、幅と高さと同じ比率で拡大縮小するか、別々に拡大縮小するかをカスタム指定できます。

時間を短縮するプリント 設定のプリセット

印刷設定をプリントプリセットとして保存し、時間を短縮し、ミスをなくし、一般的な印刷作業を自動化することができます。プリント設定で新規プリセットを定義したり、プリントダイアログボックスから直接プリントプリセットを保存することができます。



▶一旦プリントプリセットが設定できたら、他のコンピュータとプリセットを簡単に共有できます。共有したい設定を保存し、書き出した設定を「プリントプリセット...」で読み込んでください。

より柔軟で優れた
出力環境

Illustrator CS2では

強化されたインターフェイスと確実に高速な印刷のための機能をサポートしユーザーが簡単に一貫した結果を得られる環境を実現しました。

またIllustrator CS2ではAdobe PDFを

より強力にサポートすることでPDFワークフローの導入を簡単・確実にこなせる作成環境を整えています。

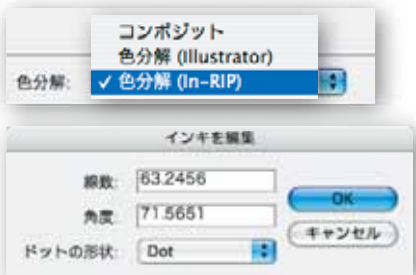
直観的な ページ分割制御

プリントダイアログボックス内に表示され大型サイズのデザインを、複数の用紙に分割設定をより簡単に直観的に指定できます。配置アイコンで任意の箇所をクリックするか、原点の値を指定することによって、タイル印刷されたページ上のアートワークの位置を制御できます。

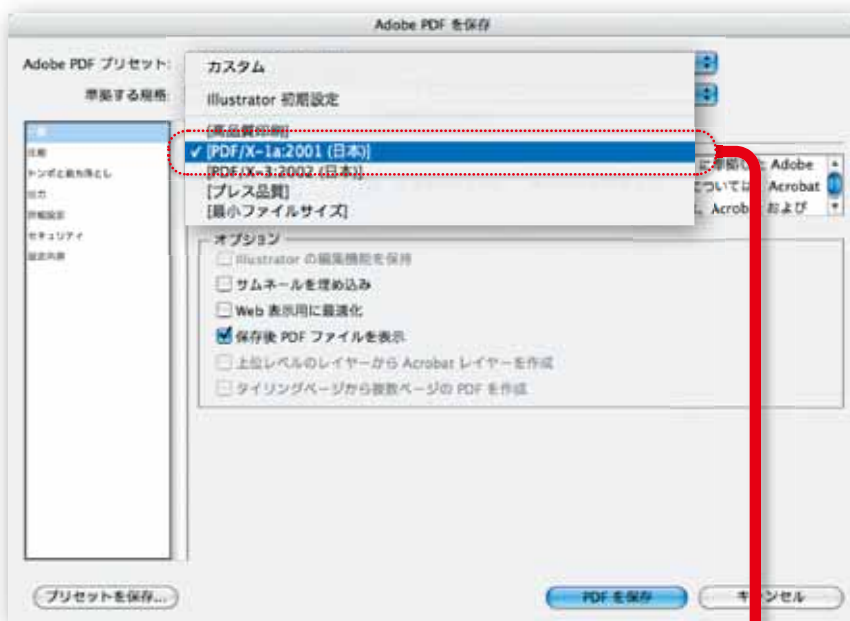


新しい色分解オプション

ホストベースの色分解出力のサポートに加え、RIPベース (In-RIP) の色分解に対応しています。このワークフローは、トラッピングや面付けといった付加的なIn-RIP処理の際にも最適です。また、EPSF Riderファイルを用いなくても、プリンタ出力をカスタマイズできるため、個々のインキについてドットの形状、角度、線数をより迅速かつ直接的に制御できます。



PDF/Xのサポート CS2 NEW



強化された “Adobe PDF” の 作成機能を 提供

PDF/Xを ダイレクトに出力

Illustrator CS2では、Adobe Creative Suite 2と共通のPDF書き出しプリセットを使用して、業界標準のプリプレス用フォーマット「PDF/X-1a」および「PDF/X-3」に直接書き出すことが可能になりました。



▶プリセットを特定のワークフロー用にカスタマイズし、チームやクライアントと共有することも可能です。

PDF/Xとは？

PDF/Xは、印刷用データとしてのISO (国際標準化機構) の規格で、PDFの運用上のガイドラインを示しています。PDF/XはPDF上で、印刷上のトラブルの原因となるカラー、フォントなどの諸設定の運用を制限し、円滑な印刷工程を実現するものです。

ISOの規格としてのPDF/Xには、PDF/X-1aとPDF/X-3があります。PDF/X-1aは、特定の出力デバイスで使用されるCMYKおよび特色のワークフローをサポートするものです。PDF/X-3は、Labなどのデバイスに依存しないカラーを利用したワークフローをサポートするものです。

ダイレクト出力!



PDF/X-1a

ネイティブデータ そして PDFという 入稿データの 新しい選択肢

データ入稿スタイル さまざま

AI

Illustrator
ドキュメント
での入稿



▶ 運用に適したネイティブ形式のファイルです。



▶ 特にありません。

作成方法

書類を保存する際に「Illustratorドキュメント」を選択します。保存ダイアログボックスは下図を参考に設定してください。



- 1 「100%」にします。
- 2 すべてチェックします。

EPS

Illustrator EPS
での入稿



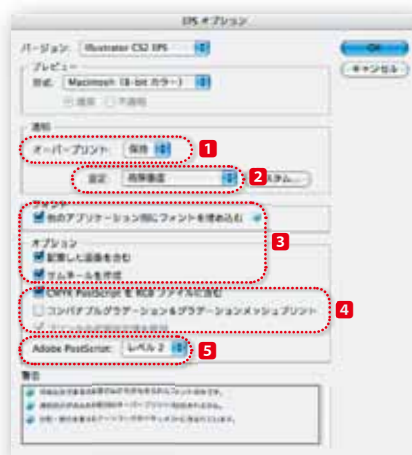
▶ 従来から普及している最も一般的な入稿方法です。



- ▶ ファイルサイズが大きくなり、保存や出力に時間がかかる場合があります。
- ▶ ICCプロファイルに対応していないため、カラーマネジメントの運用が困難です。

作成方法

書類を保存する際に「Illustrator EPS (eps)」を選択します。保存ダイアログボックスは下図を参考に設定してください。



- 1 基本的に初期設定で構いません。
- 2 「高解像度」に設定します。
- 3 チェックします。
- 4 基本的に初期設定で構いません。
- 5 出力機器にあわせて設定します。わからない場合は「レベル2」に設定します。

Adobe Illustrator CS2では、いままで注意が必要であった出力の問題を解消するためにさまざまな改善がされています。結果としてデータ入稿もより簡潔に行なっていただけます。幅広い出力のニーズに合うように、さまざまなファイル形式がサポートされています。データ入稿に適したファイル形式はIllustratorドキュメント、Illustrator EPSおよびAdobe PDF (PDF/X-1a) です。

出力する環境によってはここに記載する方法が当てはまらない場合があります。そのような場合には、事前に印刷・出力会社に入稿方法を確認してください。

PDF/X-1a

Adobe PDFでの入稿

推奨



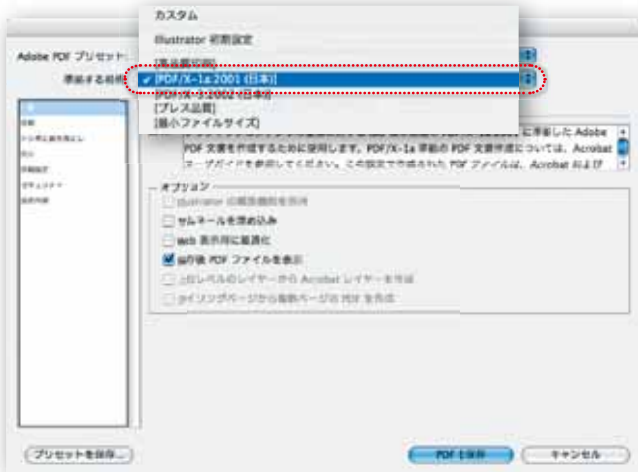
- ▶ 出力品質が安定しています。
- ▶ 画像、フォント、印刷情報などをすべて含むため、入稿するファイルはひとつでOKです。
- ▶ 簡潔なワークフローが構築できます。

- ✕ ▶ 特にありません。

作成方法

書類を保存する際に「Adobe PDF (pdf)」を選択します。Adobe PDFプリセットから [PDF/X-1a:2001 (日本)] を選択します。必要に応じて、トンボや裁ち落としなどの設定*をカスタマイズしてPDFを保存します。

*詳細はあらかじめ、印刷・出力会社と相談してください。



PDF書き出し
Illustrator CS2



PDF/X-1a

プリフライト
Acrobat 7.0
Professional



入稿

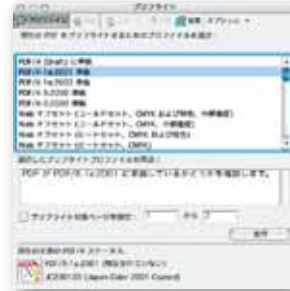
Acrobat 7.0 Professional での検証

PDFが作成されたら、Acrobat 7.0 Professionalでプリフライトを実行し、作成されたPDFが確実に印刷可能かをチェックします。

チェックに当たってはプリセットによるプロファイルもしくは、カスタマイズされたプロファイルを使用します。プリフライトで問題が見つかった場合、その部分をIllustrator CS2に戻って修正します。



▶ プリフライトを実行するには、印刷工程ツールバーでプリフライトツールを選択します。(アドバンスト/プリフライトからでも可能です)



▶ 一覧からプロファイルを選択します。実行をクリックしてプリフライトを開始します。



▶ 検証の結果は、プリフライトダイアログボックスに表示されます。

[[Illustrator:プリフライト] 入稿時の確認ポイント

- 作成したバージョンを確認します。
- 配置した画像を添付します。
リンクパレットで、リンクの状態や所在不明ファイルの確認、リンク画像や埋め込み画像の属性などの情報を確認します。
- 出力先の環境で、書類に使用したフォントが出力可能かどうかを確認します。コピーが許諾されている欧文フォントは入稿データに添付します。書式メニューのフォント検索で使用中のフォントを確認します。必要に応じてフォントの置換やアウトライン化を行ないます。置換後はレイアウトをもう一度確認します。
- 出力解像度・出力線数・膜面・分解版・出力サイズなど出力に必要な情報を確認します。
- 書類情報のデータを出力して添付します。
[ドキュメント情報] パレットのサブメニューの「選択内容のみ」のチェックを外して、サブメニューから「保存」を選択してテキストファイルを書き出します。
- 出力に関係のないオブジェクトやレイヤーを削除します。

- 不要なスウォッチ・ブラシ・グラフィックスタイル・シンボルを削除します。
- オブジェクト上の余分なアンカーポイントは削除します。
- 透明効果やアピアランスを利用している場合は [分割・統合プレビュー] パレットであらかじめ確認します。
- アートワークにラスターライズ効果を加えた場合は、効果メニューから [ドキュメントのラスターライズ効果設定...] で出力線数に合わせた解像度を設定します。
- オーバープリントの設定を確認します。

旧バージョンとの互換性 書類の読み込み

テキストの互換性について

Adobe Illustrator CS2では、新しく導入されたテキストエンジンにより、OpenTypeフォントのフルサポートをはじめ、最高品質のテキスト組版、Unicode対応および便利な文字スタイルと段落スタイルを使用できます。このため以前のバージョンのIllustratorで作成されたテキストをAdobe Illustrator CS2で編集するには、テキストを更新する必要があります。

テキストの更新

以前のバージョンのIllustratorで作成されたテキストが含まれている書類を開くときには、テキストをすぐに更新するか後で更新するかを選択¹することができます。初期設定では、書類内のテキストを更新すると、書類名の末尾に自動的に「更新済み」という文字が追加されます。そのため、ファイルのコピーが作成されることになり、元のファイルはそのまま残ります。ファイル名に文字を追加しないようにするには、編集/環境設定/一般 (Windows) またはIllustrator/環境設定/一般 (Mac) を選択し「以前のバージョンファイルを開くときに「更新済み」をファイル名に追加」の選択を解除します。

テキストを更新²すると、行送り、カーニングなどの文字の位置属性の変更、ハイフネーションの変更を伴うエリア内文字オブジェクトでの改行位置の変更による文字の移動などの、レイアウト

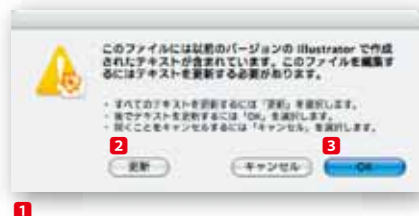
の変更が行われる場合があります。

このような変更を避けるために、テキストを更新しないこと³もできます。更新されていないテキストを、レガシーテキストと呼びます。レガシーテキストは、表示、移動およびプリントできますが、編集することはできません。

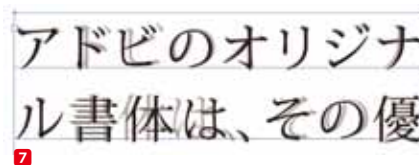
書類を開いた後で、特定のオブジェクトのレガシーテキストを更新⁴することもできます。この場合、コピーを作成せずにレガシーテキストを更新⁵するか、更新したテキストの下のレイヤーにレガシーテキストのコピーを保持⁶するかを選択することができます。

更新したテキストの下のレイヤーにレガシーテキストのコピーを保持するには、まず文字ツールを

選択して更新するテキスト内をクリックするか、選択ツールを使用して更新する文字をダブルクリックします。次に、「テキストオブジェクトをコピー」をクリックします。この操作により、更新したテキストとレガシーテキストのレイアウトを比較⁷できます。レガシーテキストはグレーで表示され、更新したテキストの下に表示されます。



▶レガシーテキストはグレーで表示され、更新したテキストの下に表示されます。コピーしたレガシーテキストは書式/テキストを更新/コピーを削除を使用して削除できます



7

レガシーテキストを更新した場合の主な注意点と調整

自動行送り

自動行送り値は文字サイズの120%に設定されます (例えば、10ポイントの文字の行送りは12ポイントになります)。この際、自動行送り値が、120%をポイント単位に換算する際の計算で生じる丸め誤差によって、旧バージョンと異なる場合があります。行送りがずれる場合には、旧バージョンでの行送り値を入力して補正します。

カーニング

更新されたテキストは、カーニングが「自動」に設定されます。カーニングが「自動」に設定されている場合、OpenTypeフォントを使用していると、プロポーショナルに詰め処理されます。ベタ組みにしたい場合には、カーニングを「0」に設定します。※以前のバージョンのIllustratorでは、OpenTypeの詰め処理 (プロポーショナルメトリクス) には対応していません。

手動カーニング

手動カーニングを適用している箇所は、カーニングがすべて「0」に変換されます。あらためて手動カーニングを設定する必要があります。

文字詰め

OCFフォントやCIDフォントの詰めは、無効にな

ります。OpenTypeフォントを詰める場合には、OpenTypeパレットのプロポーショナルメトリクスをチェックします。文字設定パレットでカーニングを「自動」にした場合には、プロポーショナルメトリクスに加えて、主に欧文フォントなどに搭載されているベアカーニング*が適用されます。文字設定パレットのカーニングを「自動」にするだけでも、OpenTypeフォントの詰めは行えますが、手動カーニングを適用した場合、挿入ポイントの両側の文字詰めが解除されます。

*ベアカーニングは、アドビの和文フォント (小塚明朝、小塚ゴシック) の仮名でも適用されます。

文字組み

Illustrator CS2では、文字組みセットを選択して、日本工業規格 (JIS) の仕様JISx4051-1995に準拠したさまざまな日本語組版を実現することができます。文字組みセットの編集は文字組みアキ量設定で行います。初期設定では、以前のバージョンのIllustratorにある「組み」とは組版結果が異なりますので、ご注意ください。

ぶら下がり

以前のバージョンのIllustratorで作成された書類を更新した場合、ぶら下がりが設定されていると「強制」が適用されます。「標準」で処理したい場

合には、段落設定パレットメニューから切り替えます。

禁則処理

禁則処理設定は自動的に変換されます。ただし、Illustrator CS2の「強い禁則」には以下の文字が新たに禁則対象文字に指定されていますので、旧バージョンでの処理を維持したい場合には、書式/禁則処理設定で、設定をカスタマイズしてください。

新しく追加された禁則対象文字

¥ \$ °C °F @ % ‰ \$ € £ ¥

また、以前のバージョンのIllustratorで禁則処理オプションの設定で「追い込み処理」項目をオフにしている場合には、更新後に、段落設定パレットメニューの禁則調整方式を追い出し優先または追い出しのみに設定します。

エリア内文字オプション

Illustrator CS2と以前のバージョンのIllustratorでは、テキストエリア内で、1行目の行揃えの基準となるオフセット値が異なります。このため、1行目の開始位置がずれる場合があります。更新すると、1行目のベースライン基準が「レガシー」に設定されていますが、これを「仮想ボディの高さ」に変更して調整します。

バージョン間の主な日本語組版処理の相違一覧表

主な日本語組版処理の相違			Illustrator CS/CS2	レガシーテキストを 更新した場合	Illustrator 10/9/8	Illustrator 7	Illustrator 5.5	レガシーテキストを 更新した場合の調整
行送り基準	文字設定パレット メニュー	行送り基準	日本語基準の行送り	欧文基準の行送り	欧文基準の行送り (固定)	欧文基準の行送り (固定)	欧文基準の行送り (固定)	
自動行送り	ジャスティフィ ケーション設定 ダイアログ	自動行送り	175%	120% *	120%	120%	120%	換算誤差の 修正をして調整
		自動行送りの編集	○	○	×	×	×	
		単語の間隔：最小	80%	100%	100%	100%	100%	
		単語の間隔：最適	100%	100%	100%	100%	100%	
		単語の間隔：最大	133%	200%	200%	200%	200%	
		文字の間隔：最小	0%	0%	0%	0%	0%	
		文字の間隔：最適	0%	0%	0%	0%	0%	
		文字の間隔：最大	0%	5%	5%	5%	5%	
		グリフ幅拡大/縮小： 最小	100%	100%	—	—	—	
		グリフ幅拡大/縮小： 最適	100%	100%	—	—	—	
グリフ幅拡大/縮小： 最大	100%	100%	—	—	—			
カーニング	文字設定パレット	カーニング値	0	0	自動	自動	0	カーニング値を調整
		行頭でのカーニング	○	○	×	×	○	
トラッキング	文字設定パレット	トラッキング値	0	値を保持	0	0	0	
文字詰め	文字設定パレット OpenType パレット	OpenTypeの詰め	○	○	×	×	×	
		CIDフォントの詰め	×	×	○	○	○	
		文字ツメ	0%	0%	—	—	—	
文字組み	段落設定パレット	文字組みセット	行末約物半角	なし	オフ	オフ	オフ	
		文字組みセットの編集	○	○	×	×	×	
縦組み中の 欧文回転	文字設定パレット メニュー	縦組み中の欧文回転	オフ	自動的に処理	オフ	オフ	オフ	
		縦中横	オフ	自動的に処理	オフ	オフ	オフ	
文字揃え	文字設定パレット メニュー	文字揃え	中央	ベースライン	ベースライン	ベースライン	ベースライン	
		文字揃えの編集	○	○	×	×	×	
割注	割注設定 ダイアログ	行数	2	2	—	—	—	
		割注サイズ	50%	50%	50%	50%	—	
		行の間隔	0	0	—	—	—	
		行揃え	自動	自動	—	—	—	
		改行オプション： 1行目の最小文字数	2	2	—	—	—	
		改行オプション： 最終行の最小文字数	2	2	—	—	—	
ハイフネーション	段落設定パレット	ハイフネーション	オフ	自動的に処理	オフ	オフ	オフ	
ぶら下がり	段落設定パレット メニュー	オンにした時の設定	選択可能	強制	標準	強制	標準	標準/強制的確認
禁則処理	段落設定パレット	初期設定	強い禁則	自動的に処理	なし	なし	弱い禁則	
		強い禁則	○	○	○**	○**	×	禁則処理設定の 編集で調整
		弱い禁則	○	○	○	×	○	
		禁則処理設定の編集	○	○	×	×	×	
	段落設定パレット メニュー	初期設定	追い込み優先	追い込み優先***	追い込み優先	追い込み優先	追い込み優先 (固定)	禁則オプションの チェックを確認
分離禁止文字処理	オン	オン	オン	オン	オフ			
エリア内文字	エリア内文字 オプション ダイアログ	オフセット： 1列目のベースライン	仮想ボディの高さ	レガシー	レガシー (固定)	レガシー (固定)	レガシー (固定)	「仮想ボディの高さ」 に設定して調整
		オフセットの編集	○	○	×	×	×	

* 換算誤差によって値が異なる場合があります。

** 対象文字に# ¥ § °C °F @ % \$ € ¥ は含まれません。

*** 書類の設定に関わらず「追い込み優先」になります。

旧バージョンとの互換性 書類の書き出し

以前の形式での保存

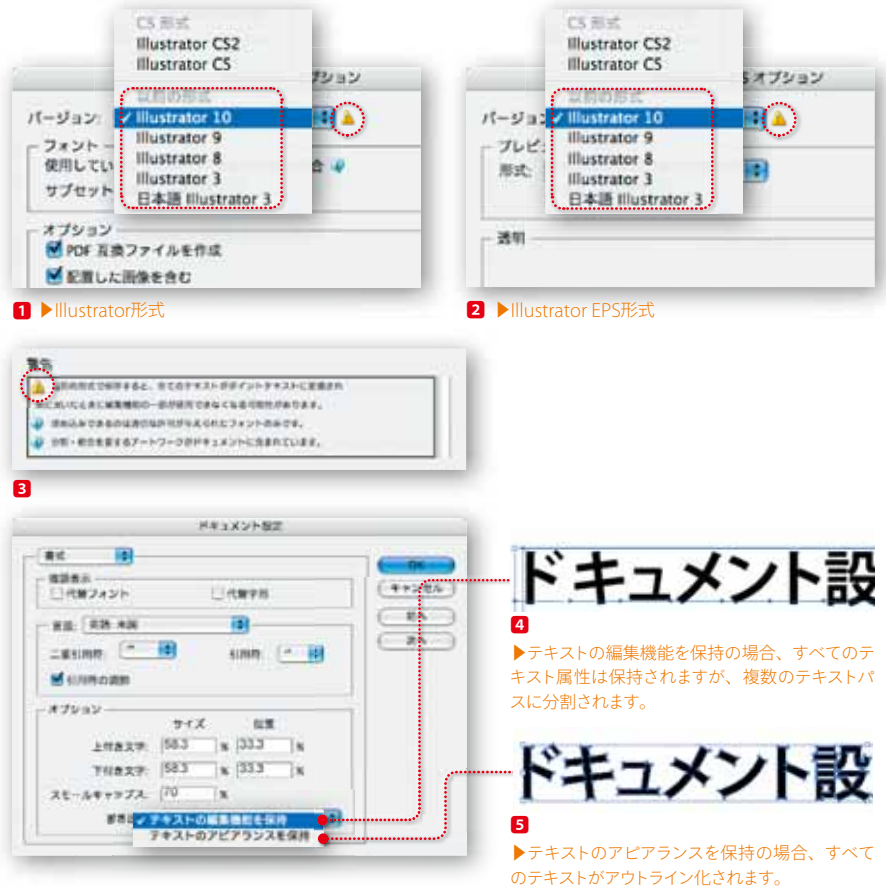
「別名で保存」ダイアログボックスで、以前のバージョンのIllustrator形式¹およびEPS形式²を再び選択できるようになりました。そのため「書き出し」のフォーマットから、Illustrator Legacy (ai) およびIllustrator Legacy EPS (eps) が削除されました。ただし、Illustrator CS2ファイルをIllustratorの以前のバージョンの形式で保存すると、グラデーション、レイヤー、透明、文字設定など一部の機能がサポートされない場合があります。

Illustrator CS2で作成したレイアウトやアートワークを保持するために、テキストやオブジェクトが分割されたりアウトライン化されたりします。

Illustrator CS2ファイル内で、以前のバージョンに存在しなかった機能が使用されている場合は、常にこの問題が生じます。ダイアログボックスに表示される警告³をお読みになり、影響を受ける可能性がある項目を確認してください。

以前の形式で保存時の影響例^{4,5}

ファイル/ドキュメント設定/書式/書き出しにより、以前の形式で保存した場合の文字設定が調整されます。



1 ▶ Illustrator形式

2 ▶ Illustrator EPS形式

3

ドキュメント設

▶テキストの編集機能を保持の場合、すべてのテキスト属性は保持されますが、複数のテキストパスに分割されます。

ドキュメント設

▶テキストのアピアランスを保持の場合、すべてのテキストがアウトライン化されます。

以前のバージョンのIllustratorでサポートされない主なIllustratorデータ一覧

	Illustrator 10	Illustrator 9	Illustrator 8	Illustrator 3日本語
レイヤー	○	○	○	×
ネストレイヤー	○	○	×	×
透明	○	○	分割	分割
効果	○	○	分割	分割
3D	分割	分割	分割	分割
落書き	分割	分割	分割	分割
ワープ	○	分割	分割	分割
アピアランス	○	○	分割	分割
日本語組版	分割/アウトライン	分割/アウトライン	分割/アウトライン	分割/アウトライン
OpenTypeフォント	○	○	×	×
字形 (異体字)	アウトライン	アウトライン	アウトライン	アウトライン
OpenType機能	分割/アウトライン	分割/アウトライン	分割/アウトライン	分割/アウトライン
エンベロープ	○	分割	分割	分割
グラデーションメッシュ	○	○	○	分割
ブレンド	○	○	○	分割
シンボル	○	分割	分割	分割
ブラシ	○	○	分割	分割
グラデーション	○	○	○	分割
パターン	○	○	○	○
パスファインダ (複合シェイプ)	○	分割	分割	分割
単位				
ピクセル	○	○	×	×
級/齒	○	○	○	×
選択範囲の保存	○	×	×	×
配置画像				
埋め込み画像	○	○	○	×
RGB画像	○	○	○	×
アートワークサイズ	○	○	○	×*
カラーモード				
書類のカラーモード	○	○	CMYKに変換	CMYKに変換
RGBカラー	○	○	○	CMYKに変換
プロファイルの指定	○	○	×	×
Web				
スライス	○	○	×	×
URL	○	○	○	×

*カスタム：457.2 mm×457.2 mmに設定されます。

テキストに関するQ&A

Q1

タブを設定しようと思って文字メニューを探したのですが、見当たりません。

A

タブはタブパレットで設定をすることができます。タブパレットを開くには、ウィンドウ／書式／タブを選択します。※以前のバージョンのIllustratorでは、左揃えの場合のみタブが有効でしたが、Illustrator CS2では左揃え以外にもタブが有効になります。

Q2

文字設定パレットにあった「組み」のチェック項目がありません。「組み」の機能は使えないのでしょうか？

A

段落設定パレット／オプションを表示／文字組みで行えます。書式／文字組みアキ量設定を編集することで、より細かい調整が可能になります。設定を保存したり、外部ファイルに書き出すことができますので、ハウスルールを素早く適用することが可能です。



▶文字組み設定

Q3

文字設定パレットにあった「詰め」のチェック項目がありません。「詰め」の機能は使えないのでしょうか？

A

OpenTypeパレットの「プロポーショナルメトリクス」をチェックすることで、OpenTypeフォントの詰め情報（プロポーショナルメトリクス）が利用できます。文字設定パレットでカーニングを「自動」にした場合には、プロポーショナルメトリクスに加えて、主に欧文フォントなどに搭載されているペアカーニングが適用されます。文字設定パレットのカーニングを「自動」にするだけでも、OpenTypeフォントの詰めは行えますが、手動カーニングを適用した場合、挿入ポイント直前の文字詰めが解除されます。OCFフォントやCIDフォントの詰め情報は利用できません。ただし、文字設定パレットの「文字ツメ」を利用すると、文字間のアキ量（サイドベアリング）を調整して文字を詰めることができます。

Q4

Adobe日本語単数行コンポーザとAdobe日本語段落コンポーザの違いは何でしょうか？

A

Adobe日本語単数行コンポーザは、禁則処理や行揃えの設定を1度に1行のテキストに対して適用するものです。以前のバージョンのIllustratorが使用していた方法に近いのが単数行コンポーザです。Illustrator CS2の新しいAdobe日本語段落コンポーザ（以下、段落コンポーザ）は、より見た目が美しく均整がとれて読みやすいテキストを作ります。

段落コンポーザは、エリア内の全テキストを評価した上で、全体から見て最適と思われる改行位置の組み合わせを決めます。

段落コンポーザでは、調整のために手動で改行を入れることなく、精妙な文字組みを実現する機能を提供します。

コンポーザの切り換えは、段落設定パレットサブメニューから選択します。



▶コンポーザの切り換え

Q5

CIDフォントの字体切り換え機能がメニューから選べません。どのようにすればよいのでしょうか？

A

字形パレットを利用します。字形パレットの表示ポップアップメニューから「現在の選択文字の異体字」を選択すると利用できる異体字が表示されます。字形パレットは書式／字形を選択するか、ウィンドウ／書式／字形を選択して表示できます。



▶字形パレット

Q6

カーニングにある「オプティカル」とは、「自動」とどのような違いがあるのでしょうか？

A

「オプティカル」カーニングでは、隣り合った文字間のアキを文字の形に基づいて調整することができます。ペアカーニング情報が最小限しか含まれていない、または全く含まれていないフォントの場合、または、1行内に異なるフォントやフォントサイズを使用している場合には、「オプティカル」カーニングを使用してカーニングを調整します。「オプティカル」カーニングは、Illustrator CS2の機能であり、フォントの持っている機能ではありません。「オプティカル」カーニングは主に欧文フォントを使用している場合に動作します。基本的に和文フォントには対応していません。

「自動」カーニングでは、フォントが持っているプロポーショナルメトリクスとペアカーニングが適用されます。フォントにプロポーショナルメトリクスやペアカーニングがない場合には変化しません。

※プロポーショナルメトリクスはOpenTypeフォントに搭載される詰め情報です。ペアカーニングは主に欧文フォントや一部の和文フォントに搭載されています。アドビの和文フォント（小塚明朝、小塚ゴシック）の仮名にはペアカーニングが搭載されています。

Adobe® Illustrator® CS2 日本語版

すべてのデザインのために。 業界標準ベクトルグラフィックソフトウェア

Adobe Illustrator CS2 は、ライブトレース、ライブペイントといった革新的な機能を搭載し、ベクトルグラフィック作成のまったく新しい手法を提供します。また、必要なツールにすばやくアクセスできるコントロールパレットやワークスペースの最適化により、作業効率を高め制作時間の短縮を実現。魅力あふれるグラフィックを、印刷、ビデオ、Web、モバイルといったさまざまなメディアに向けて配信できます。



Macintosh®/Windows®

Adobe Creative Suite 2 Premium 日本語版



- ▶ Adobe® Photoshop® CS2 日本語版
- ▶ Adobe® ImageReady® CS2 日本語版
- ▶ Adobe® Illustrator® CS2 日本語版
- ▶ Adobe® InDesign® CS2 日本語版
- ▶ Adobe® GoLive® CS2 日本語版
- ▶ Adobe® Acrobat® 7.0 Professional 日本語版
- ▶ Adobe® Bridge 日本語版
- ▶ Version Cue™ CS2 日本語版
- ▶ Adobe® Stock Photos

Adobe Creative Suite 2 Standard 日本語版



- ▶ Adobe® Photoshop® CS2 日本語版
- ▶ Adobe® ImageReady® CS2 日本語版
- ▶ Adobe® Illustrator® CS2 日本語版
- ▶ Adobe® InDesign® CS2 日本語版
- ▶ Adobe® Bridge 日本語版
- ▶ Version Cue™ CS2 日本語版
- ▶ Adobe® Stock Photos

必要システム構成

Macintosh版

- PowerPC® G3、G4、またはG5プロセッサ* (G4またはG5プロセッサを推奨)
- Mac OS X v.10.2.8~10.4 (10.3.4~10.4を推奨) およびJava™ Runtime Environment 1.4.1
- 256MB以上のRAM (512MB以上を推奨)
- CD-ROMドライブ
- 960MB以上の空き容量のあるハードディスクドライブ
- 1024×768以上の画面解像度をサポートするディスプレイ
- 16bit以上のカラー表示が可能なディスプレイ、ビデオカード (24bitカラー以上を推奨)
- マルチメディア機能を使用するにはQuickTime 6.5が必要
- プロダクトアクティベーション (ライセンス認証) のためにインターネット接続または電話回線
- Adobe Stock Photosや付随するサービスのためのブロードバンドインターネット接続

*PowerPC G5にはMac OS X 10.3以上が必要です

Windows版

- インテル® Pentium® IIIまたは4クラスのプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- Microsoft® Windows 2000日本語版Service Pack 4、またはWindows XP日本語版 (Service Pack 1または2)
- 256MB以上のRAM (512MB以上を推奨)
- CD-ROMドライブ
- 820MB以上の空き容量のあるハードディスクドライブ
- 1024×768以上の画面解像度をサポートするディスプレイ
- 16bit以上のカラー表示が可能なディスプレイ、ビデオカード (24bitカラー以上を推奨)
- マルチメディア機能を使用するにはQuickTime 6.5が必要
- プロダクトアクティベーションのためにインターネット接続または電話回線
- Adobe Stock Photosや付随するサービスのためのブロードバンドインターネット接続

製品情報

Adobe Illustrator CS2のパッケージには、以下のものが含まれます。

- Adobe Illustrator CS2および以下のプログラム
 - PDFファイルを表示するためのAdobe Reader™
 - クリエイティブアセットをブラウズし、管理するためのAdobe Bridge
 - SVG (Scalable Vector Graphics) 形式のファイルを表示するためのAdobe SVG Viewer
- チュートリアルおよびサポート資料
 - 5つのチュートリアルを含むオンラインヘルプ
 - Video WorkshopトレーニングCD
 - Adobe Illustratorスクリプティングガイド
 - Adobe Illustrator XML拡張ガイド
 - ユーザガイド
- 多様なアートワークやその他のコンテンツ。プロフェッショナルのデザインによる270種類以上のテンプレート、100以上のOpenTypeフォント、ブラシやグラデーション、スタイル、パターン、スウォッチ、シンボルを含む100以上のライブラリが用意されています。

Adobe Creative Suite 2 に含まれる 各製品の必要システム構成は アドビWebサイトの各製品ページを 参照ください。

- ▶ Adobe Photoshop CS2 <http://www.adobe.co.jp/products/photoshop>
- ▶ Adobe Illustrator CS2 <http://www.adobe.co.jp/products/illustrator>
- ▶ Adobe InDesign CS2 <http://www.adobe.co.jp/products/indesign>
- ▶ Adobe GoLive CS2 <http://www.adobe.co.jp/products/golive>
- ▶ Adobe Acrobat 7.0 Professional <http://www.adobe.co.jp/products/acrobatpro>

- ▶ **アドビ カスタマー サービス** Tel. ナビダイヤル 0570-067337 または 03-5350-0407 電話受付時間 9:30~17:30 (土、日、祝日および弊社指定休日を除く)
- ▶ **アドビストア (注文専用)** フリーダイヤル 0120-61-3884

Better by Adobe.™

- ▶ **アドビ システムズ 株式会社** 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー www.adobe.co.jp

このカタログに記載の情報は、2005年6月現在の情報です。内容に関しては予告なく変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

Adobe、Adobeロゴ、Adobe Illustrator、Adobe Reader、Acrobat、Distiller、GoLive、InCopy、InDesign、Photoshop、PostScript、PostScript 3およびVersion Cueは、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。MacおよびMacintoshは、米国および他の国々におけるApple Computer, Inc.の登録商標です。インテルおよびPentiumは、アメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標です。PowerPCは、International Business Machines Corporationの米国ならびに他の国における登録商標です。MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国ならびに他の国における商標または登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

©2005 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. ASJST531 10/05